

STUDENTS

つくばスチューデント

2005年10月号



KIKAKON 第1日目のトップ企画に選ばれた「秋刀魚屋」(むじな)

学内パトロールのボランティア募集

平成18年度学生宿舎入居者募集スケジュール

平成18年度学年暦

石打研修所の冬季利用の予約受け付け

第4回STUDENTSフォトコンテスト写真募集

インターネット版つくばスチューデントURL

<http://www.tsukuba.ac.jp/campus/students/index.html>



筑波大学
University of Tsukuba

大学で学ぶということ

齋藤 一弥 (数理物質科学研究科)



輪読もしくは自主ゼミ

私を含めた同じ高校出身の3名は自宅から通うことのできる異なる三つの大学の理学部へ入学した。学科も化学、数学、地学とバラバラだった。ただのカッコ付けだったのかもしれないが、何か高校までとは違う「専門的な」勉強がしたいと思っていたので、入学の直後に勉強会を始めることにした。誰かの専門に近いのも不公平だという理由で、解析力学の勉強を始めた。担当者を決めて月に二回ほど誰かの自宅に集まって勉強をした。新しい知識を学ぶのに人の力を借りることを学んだ体験だった。

総じて人間は弱いものである。ある日、一念発起して勉強する決意をしても、日々の諸々に流されて長続きしないのは、「三日坊主」の言葉が熟語として通用することからも明らかである。この点で、他人を巻き込んでしまう輪読は、勉強を続ける上で大変役に立つ方法だ。集団で勉強するのは、長続きするということがメリットではない。全く初めての内容である場合、一人ではどうしても理解しきれないところが出てくる。「三人寄れば文殊の知恵」の言葉どおり、わからないことでもみんなをよく考えると解決の糸口は開けるものだ。

最初の輪読以降、いろいろな仲間といろいろな勉強をしたが、輪読を成功させることはメンバーを選ぶことだ。お互いに信頼できるメンバー、3~5人程度がちょうど良い。2人では忙しすぎるし、人数が多いと担当する順番が回ってこないのが緊張感が無くなり身に付かない。

何を学ぶ?

大学生になったら早い時期に考えておくべき問題がいくつかあるように思う。

大学生は義務教育を終えて三年以上、肉体的には労働に十分耐える。そうであるにも関わらず労働を免除されていることの意味は何だろうか。これは「社会にとって教育はどういう意味を持つのか」という問題と密接に関係している。こういう問題を考えるには「学問(科学技術)は人間にとってどういう意味を持つか」、「(自分の学ぼうとしている)学問分野は学問(文化)の中でどういう位置にあるか」、「大学ってそもそも何だ」、などということを考えなければい

けなくなる。最近はこのことを考える、あるいは考えたことのある学生が昔に比べるとずいぶん少なくなったようだ。

筑波大では専攻の決定が比較的遅い。入学しているいろいろな講義を聞いて専攻を決めようと考えている人も少数ながらいるようだ。私は自然学類にいるから他学類について確定的なことは言えないが、1年生の講義を聴いて専攻を決めるのはお勧めできない。「講義を聞く」と「専攻にする」の間にあるギャップはとても大きいのだ。実はこのギャップの前に高校までの学問分野のイメージと大学以降のそれとに大きなギャップがある。高校時代のイメージを持って大学の講義を漫然と聞き、それで満足して専攻を決めることには大きなリスクを伴うことを肝に銘じるべきである。このリスクを回避し、自分に相応しい専攻を選択する決め手は、おそらく輪読の活用以外にない。「専攻に入ればたくさん講義があるから」と思っただけではいけない。学問領域は日進月歩で拡大しているものであり、講義で取り上げられることなどほんの一部にすぎない。専門家たらんとすれば自分で本(や文献)を読むことは必須なのだから。

視野を広く

大学で学ぶべきことは学問だけではない。良い友人を作り、たくさん遊ぶことも、勉強することと同じくらい、とても大事だ。だからサークルなどに所属して「濃い」つきあいをすることも良いことだ。でも、人間関係や自分の視野をそこにとどめてしまっただけでは情けない。

自分が学ぼうとしている学問と社会のつながりを考えるのも大事な視点だ。しかしそれだけでなく、社会のありようについてたまには思い巡らせるのも、知識人の卵としての大学生の見識だと思いたい。つい先頃、総選挙が行われたが、友達との話題にどの程度上っただろうか。もし、総選挙があったことすら知らない学生がたくさんいたら、これはやっぱり危ない状態だと思う。

大学を卒業して20数年。すっかり年寄りになったことを証明する文章になった。書いたことには責任をもてるよう努力したい。

茗溪会学生生活活動支援事業並びに 筑波学都資金財団教育助成事業について

学生部学生生活課

9月14日(水)午前11時30分から学長室において、茗溪会及び筑波学都資金財団の鶴川昇理事長(代理:田中正造常務理事)から岩崎洋一学長に対し茗溪会並びに筑波学都資金財団の助成金目録が贈呈されました。

これは、茗溪会については学生の健全で有意義な正課外活動を行っている団体に対して活動を支援すること、筑波学都資金財団については教育研究及び福利厚生事業の一環として、個人

及び団体に教育活動の支援をするための助成金です。

続いて、午後3時から大学会館国際会議室において、採択された学生団体及び個人に助成金の決定通知書の交付式が行われました。

授与された団体数は茗溪会と筑波学都資金財団合わせて28団体、個人は学群生・大学院生合わせて35名でした。



田中常務理事(右)から助成金目録を受取る岩崎学長(左)



助成金の決定通知書の交付式



ひとりで悩まず ほけかん 保健管理センターへ

保健管理センター受付 (853)2410

学生相談室受付 (853)2415

健康な肌を保つには

松井 裕史 (保健管理センター)

夏が過ぎ、気が付けばもう秋の真っ只中。皆さんは勉強やスポーツに余念がないことと思います。とりわけ暑かった今年の夏、たっぷり浴びた紫外線の影響が秋になった今でも肌に残っている方はいませんか？

私たちの皮膚は図1に示すような構造をしており、外的環境から身体を保護し、保水、保温などをはじめとする様々な働きによって恒常性を維持する重要な臓器です。紫外線によって色素形成細胞(メラノサイト)が活性化されると、チロシナーゼが活性化して黒色の色素(メラニン)を産生するようになり、このメラニンは皮膚最上層の角質層に分布して皮膚の色を濃くします。これがいわゆる日焼けです。メラニンには紫外線を吸収する作用があり、日焼けすることによって紫外線によるDNAの傷害作用から皮膚深層(真皮)細胞が保護されることとなります。DNA傷害の最終形は皮膚がんの発症ですが、有色人種に比べて白色人種に皮膚がんが多いことは、日焼けによる皮膚保護作用の重要性を示しています。

では日焼けしてなお紫外線を浴び続けると、皮膚はどのような状態になるのでしょうか？メラニンは全ての紫外線を吸収するわけではありません。幾ら日焼けしても紫外線は大なり小なり皮膚に作用を及ぼします。過剰産生されたメラニンは基底膜より下に落ち込むようになり、メラニンが角質層に局限していれば、30日ほどで自然に脱落し、シミにはなりません。しかし基底膜より下に沈着した場合、そのターンオーバーには一年近くかかるとされています。その間、全く紫外線の影響を受けないわけにはゆかないでしょうから、結局シミはだんだん増えてゆくことになるのです(図2)。

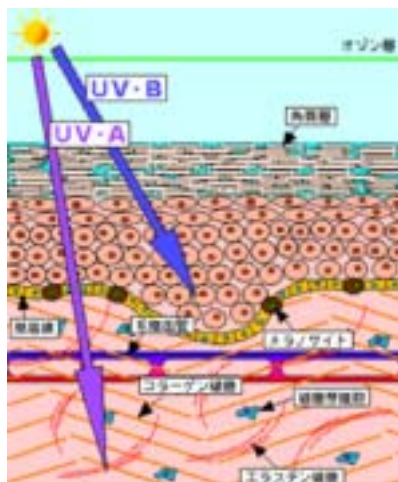


図1 <http://www.zenyaku.co.jp/k-1ban/clip/hiyake/>より引用

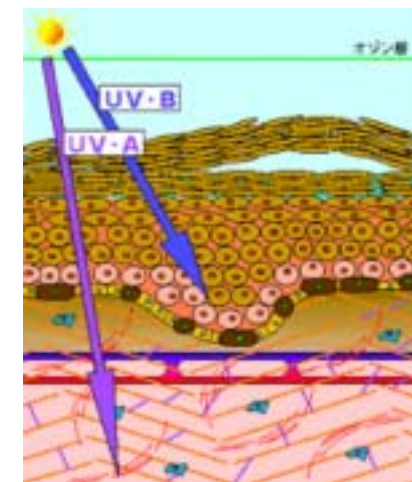
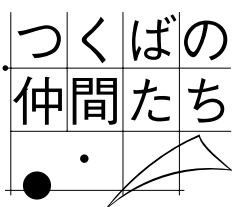


図2

日焼けやシミを防ぐには、紫外線による皮膚への影響を排除することが第一ステップとなります。紫外線はメラノサイトを活性化するとともに活性酸素を誘導し、皮膚や結合組織を傷害します。日焼け止めや長袖の服で紫外線を直接カットするとともに、活性酸素消去能のあるビタミンB1, C, E, CoQ10, カロチンを積極的に摂取することが効果的です。ビタミンCは、日焼けやシミの予防効果に加えて、沈着したシミの脱色効果も報告されていますので、屋外などで運動する人は特に気を付けて摂取してください。バランスのとれた食事に加え、現在ではサプリメントも容易に入手できますから、自分の生活にうまく取り入れてほしいところです。

また最近化粧品と紫外線の相乗作用によって皮膚傷害が生じる可能性があることが報告され、話題になっています(一般紙の一面にも掲載されたので、ご存じの方もいるかもしれません)。大多数の化粧品には防腐剤・安定剤としてメチルパラベンという物質が入っています。この物質自体には毒性は全くないのですが、紫外線とメチルパラベンが細胞に同時に作用すると細胞死が惹起されるというのです。あくまで試験管レベルの話なので今後動物や人での検討を待たなくてはいいませんが、大手化粧品会社の中にはメチルパラベン非使用製品の開発を始めたところもあると聞いています。すでにこの物質を含まない製品も売られていますので、今後の化粧品選びの参考にしてみては如何でしょうか？

日焼けを避けるには屋外に出ないことも一つの方法なのですが、やはりアウトドアで流す汗の爽快さは何者にも代え難いです。この秋、十分な日焼け予防策を講じて、積極的に外に出かけてほしいと思います。



体育会？

橋 純一（体育会執行委員会 広報局長 社会工学類 1年）

体育会は本部56団体・医学支部19団体が所属する体育系サークルの連合体です。体育会のサークルの活躍はみなさんもニュースなどで少なからず耳にすることがあると思います。体育会には国内外でトップクラスの活躍をしているサークルが数多く所属しています。また、体育会のサークルは部会と同好会に分かれており、同じ競技でも傾向の違う複数のサークルが存在しているのが筑波大学体育会の特色の一つとなっています。このため体育会はよりハイレ

ベルの大会を目指して活動する団体と、スポーツを楽しむことを主な目的とする団体が共存しています。体育会と聞いて敷居が高そうなイメージを持たれる方も多いとは思いますが、必ずしもそうではありません。みなさんも興味がありましたら体育会のサークルをのぞいてみてください。

体育会公式ページ

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~taikukai/>

部会		同好会
アーチェリー部	男子ハンドボール部	心身統一合気道会
合気道部	女子ハンドボール部	オリエンテーリング愛好会
アイススケート部	ヨット部	カヌークラブ
男子アイスホッケー部	ライフセービング部	剣道同好会
女子アイスホッケー部	ライフル射撃部	サッカー同好会
アメリカンフットボール部	ラグビー部	艇友会
鹿島神流武道部	陸上競技部	トライアスロンクラブ
空手道部	陸上ホッケー部	バスケットボール同好会
弓道部		バドミントン同好会
剣道部		バレーボール同好会
硬式庭球部		ハンドボール同好会
硬式野球部		フェアリースキークラブ
ゴルフ部		ラクロスクラブ
サイクリング部		ワンダーフォーゲルクラブ
蹴球部		
女子サッカー部		医学支部
柔道部		医学アイスホッケー部
準硬式野球部		医学アメリカンフットボール部
少林寺拳法部		医学空手道部
水泳部		医学剣道部
スキー部		医学硬式庭球部
漕艇部		医学ゴルフ部
ソフトボール部		医学サッカー部
体操部		医学準硬式野球部
体操競技部		医学水泳部
卓球部		医学スキー部
ダンス部		医学ソフトテニス部
軟式庭球部		医学卓球部
馬術部		医学バスケットボール部
男子バスケットボール部		医学バドミントン部
女子バスケットボール部		医学バレーボール部
バドミントン部		医学ハンドボール部
男子バレーボール部		医学ヨット部
女子バレーボール部		医学ラグビー部
		医学陸上競技部

来年は30周年です！

筑波大学体育会は来年で30周年を迎えます。これに伴い、現在来年1月下旬に30周年記念式典を企画しております。8月27日に体育会執行委員会のOBと現役の執行委員が集まり、記念式典の発起人会が行なわれました。

体育会応援バスツアー

体育会ではサークル活動の支援事業の一環として応援バスツアーを主催しています。バスツアーはもともと、筑波からは行きづらい東京などで行なわれる体育系サークルの試合に、筑波の学生が気軽に応援に行けるようにしたいとい

う思いから始められました。今年度のバスツアーは5月28日の蹴球部に始まり、10月2日・硬式野球部、11月3日・アメリカンフットボール部11月19日・男子アイスホッケー部と4回のバスツアーを企画しております。つい先日行なわれました硬式野球部の首都大学野球リーグ・東海大学戦では、結果は惜しくも負けとなったものの、数多くの学生が参加し大盛況のうちに終えることができました。今年度はあと2回のバスツアーが開催されますのでみなさん是非参加してください！

バスツアーWEBページ

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~bustour/>



30周年記念式典の発起人会



10月2日硬式野球部応援バスツアー（東海大学戦・相模原球場）

筑波大学よもやま話 知られざる？「桐の葉」

山澤 学（学生担当教員室 室員）

「桐の葉」のよもやま

ある学生と話していたとき、「桐のマーク」という語を聞いて、一瞬ギョっとした。もちろん、それは校章「桐の葉」（五三桐、ごさんのきり）のことであった。その歴史は1903年（明治36）、本学の前身校東京高等師範学校（高師）における服制にさかのぼる。

桐の葉、というと、校章とともに、「桐の葉は木に朽ちぬより」というメロディが思い浮かぶ。「桐の葉」と通称されるこの歌は、正しくは宣揚歌という。この歌に「母校」を感じる学生は決して少なくないと思う。これもまた、高師、東京文理科大学、東京教育大学、そして筑波大学へと引き継がれてきたものなのである。

16年前に本学へ入学した私も、新歓委員の上級生から「桐の葉」を教えてもらった。上級生の歌う「桐の葉」は正調と違うなあ、とクラス担任の先生（教育大出身）が苦笑されていたことも、今や懐かしく思い出される。

宣揚歌の詞

ところで、宣揚歌の歌詞は、『東京教育大学概要』（1978年）では次のように載せている。

- 1 桐の葉は 木に朽ちんより
秋来なば さきがけ散らん
名のみなる 廃墟を捨てて
醒めて立つ 男の子ぞ我等
- 2 日の本の 教えの庭に
いと高き 学び舎ありと
人も知る 茗溪の水
よし潤れよ 濁さんよりは
- 3 年を経て 百年過ぎぬ
今ここに 水は涸るとも
新泉は 筑波の麓に
醒めて立て 若人われら

このうち3番は、教育大閉学前の1976年（昭和51）、同大学長だった大山信郎が作詞したものである。私が学生のころは、3番を知る人は少なかったが、いつの間にか耳にする機会が多くなった。ただ、最近耳にする歌詞では、末尾が「いざ立たん 若人われら」となっている。

1番の末尾も、現在、私たちは「醒めて立て 男の子ぞ我等」と歌っている。ところが、前身校の刊行物をひもといてみると、「醒めて立つ」となっているものばかりである。本来の歌詞は「醒めて立つ」だったらいい。

歌詞は、上級生から下級生へ、口伝えに受け継がれる間に、微妙に変化してきたようである。

宣揚歌の誕生

ところで宣揚歌「桐の葉」が誕生したのは、第一次世界大戦直後、1919年（大正8）のことである。当時は進学熱が高まり、かつ高等教育が拡充された時代であり、大学令も制定された。

当時の高師は、東京高等商業学校（現、一橋大学）、東京高等工業学校（現、東京工業大学）とともに東京三大官立学校の一つであった。高等商業学校が東京商科大学に改組されることになると、他の2校でも大学への昇格を目指す機運が高まっていった。高師では1919年12月3日、教職員・学生・卒業生の共同により大学昇格運動が開始された。「教育尊重、精神文化の宣揚」という標語も叫ばれた。

運動開始3日目の12月5日夜、野球部室に集まった雑誌部員の中から、運動を盛り上げるために歌を作ろうとの声があがった。2年生の城生（後、大和と改姓）資雄が作詞し、自ら筆を執って古新聞紙の上に一気に書き上げた。慶應義塾（現、慶應義塾大学）の応援歌から節を借りて完成されたこの曲こそ、宣揚歌であった。

以後、宣揚歌は、高師大学昇格運動の旗印となった。この運動は1922年文部省を動かし、高師専攻科を大学に改組、高師本体をその附属とする方針が定まった。そして1929年（昭和4）ついに東京文理科大学は発足したのである。

「桐の葉」に学ぶ

このように、「桐の葉」は、高師の大学昇格運動という改革の旗印として、学生が自ら生み出した曲である。学生の声が前身校の改革のうえで果たした役割が大きかったことをうかがわせる。現在の本学学生支援が「学生本位の大学」を目指す源泉を見る思いがする。

「桐の葉」の現在の歌詞は、成立当時のものとは少々異なっているが、それも、上級生から下級生へと口伝えに受け継がれ、愛されてきた歴史の証であろう。夢と希望にあふれる若き学群生と肩を組み、「桐の葉」を歌うことは、三十路も半ばにさしかかった私のささやかな楽しみの一つである。

連載 食のコラム

チーズ・現代に残る古代からの保存食

吉田 滋樹 (生命環境科学研究科)

街路樹も色づき始め秋の深まりを感じさせます。「秋が旬の食べ物は？」と聞かれたとき皆さんは何を思い浮かべますか。栗やぶどう、キノコにサンマ、四季の変化に富んだ日本は食材の宝庫、季節ごとに旬の食材が私たちを楽しませてくれます。一方、保存技術、特に冷凍技術の進歩により一年中入手できる食材も多くなりました。そのためいつが旬だかわからなくなってしまった食べ物も多くあります。チーズはまさにその代表なのです。

チーズの歴史

チーズは「人類が作った最も古い食品」と言われています。チーズが最初にどのように作られたかは明らかではありませんが、紀元前3,500年頃のメソポタミアの神殿の石版画や紀元前4,000年頃のエジプトの壁画にチーズ作りの様子が描かれています。そして古代チーズ作りの発祥の地はヨーロッパと思われがちですが、実はアジア説が有力です。古代モンゴル民族は紀元前3世紀頃にはあらゆる家畜の乳を利用する食文化を確立しており、それが西アジアからヨーロッパに伝来したのでしょう。さらに現在のチーズの原型とも言える民話がアラビアに伝わっています。昔、アラビア商人が砂漠を旅する際に山羊のミルクを羊の胃で作った水筒に入れラクダに積んでいました。夕方ミルクを飲もうと水筒を開けると、出てきたのは透明な水と白い固まりでした。恐る恐る白い固まりを口にしたら、思いもよらない美味しさに驚いたか…。これこそ羊の胃の酵素レンネットの働きでミルクから乳清(ホエー)と白い固まり(カード)の製造を示した物です。

日本におけるチーズの歴史は明治の文明開化以降と思われている人が多いのですが、実は意外に古く、6世紀に百済から仏教が伝来したとき「蘇」という古代のチーズが伝わっています。この蘇は貴族の間で珍重され700年には文武天皇が諸国の国司に献納することを命じたことが「右官史記」に書かれています。しかし武士の時代の訪れとともに蘇はすたれ、再び注目されたのは8代将軍吉宗の頃でした。そして日本での本格的なチーズ製造は明治8年北海道開拓庁七重勸業試験での練乳とチーズ製造に始まり、その後、明治37年に函館トラピスチヌ修道院、昭和3年に北海道農酪販売組合連合会(現在の雪印乳業株式会社)がそれぞれ製造・販売を開始しました。

チーズの種類

チーズを大別するとナチュラルチーズとプロ

セスチーズに分類されます。ナチュラルチーズは製造後、加熱殺菌しない伝統的なチーズです。一方、プロセスチーズはナチュラルチーズを加熱して乳化剤とともに溶解し再び固めた物で1910年にスイスで商品化されました。日本では20年ほど前まではプロセスチーズがほとんどでしたが現在はチーズ消費の50%となっています。また、チーズを原料の乳種で分類すると、日本で入手できる物は牛乳、水牛乳(モッツァレラなど)、羊乳(ロックフォールなど)、山羊乳(シェブルタイプ)の4種ですが、他にアラブ諸国のラクダ乳、ネパールのヤク乳、モンゴルの馬乳など様々です。

一方、ナチュラルチーズを固さと熟成法で分類すると、軟質、半硬質(水分量38-48%)、硬質(32-38%)、超硬質(32%以下)の4つの固さに分類され、このうち軟質チーズはほとんど熟成させないでできたフレッシュチーズ(モッツァレラ、フロマージュ・ブランなど)と白カビによる表面熟成のもの(カマンベール、ブリーなど)と細菌による表面熟成のウォッシュタイプ(マンステール、ラングルなど)に分類されます。半硬質チーズは青カビによる内部熟成の青カビタイプ(ダナブルー、スティルトンなど)と細菌熟成のセミハードタイプ(ゴータ、チェダー、エダムなど)に分類されます。硬質チーズ(エメンタールなど)と超硬質チーズ(パルミジャーノなど)はともに細菌熟成でハードタイプと呼ばれています。さらにこの分類では当てはまらない物もあり、気候風土の違いにより様々なチーズが作られてきたのです。

チーズの旬

季節により牧草の状態が変化するので、そのため乳成分も変動します。また、羊や山羊は出産時期が決まっていますから、チーズの旬はチーズ製造の時期+熟成期間で必然的に決まってくるのです。では秋が旬のチーズと言いますと、ブルー・ドーベルニュ(青カビタイプ)、トム・ド・サヴォア(ハードタイプ)、ヴァランセ(シェブルタイプ)など十分熟成されたものが食べごろになります。

シェブルタイプは苦手と言う人も多いのですが、水戸森林公園内には森のシェブル館という日本人にも食べやすいチーズを製造・販売しているところもありますし、11月11日はチーズの日で、東京青山ではチーズフェスタも開催されます。これを機会に自分に合ったチーズを探してみるのも面白いかもしれませんね。

平成18年度学年暦

事 項	学 群	大 学 院 大学院 (東京キャンパス・夜間)
第1学期 (4月1日～7月31日) 学年開始 春季休業 入学式 新入生オリエンテーション 第1学期授業開始 春季スポーツ・デー 第1学期授業終了 第1学期期末試験 夏季休業 第1学期末卒業式 大学院学位記授与式	4月1日(土) 4月1日(土)～4月7日(金) 4月7日(金) 4月7日(金)～4月11日(火) 4月12日(水) 5月20日(土)～5月21日(日) 6月23日(金) 6月26日(月)～6月30日(金) 7月1日(土)～7月31日(月) 7月25日(火)	4月1日(土) 4月1日(土)～4月7日(金) 4月7日(金) 4月7日(金) 4月7日(金) 4月10日(月) 4月8日(土) 5月20日(土)～5月21日(日) 6月23日(金) 6月26日(月)～6月30日(金) 6月24日(土)～6月30日(金) 7月1日(土)～7月31日(月) 7月25日(火)
第2学期 (8月1日～11月30日) 夏季休業 第2学期入学式 第2学期授業開始 開学記念日 学園祭 秋季スポーツ・デー 第2学期授業終了 第2学期期末試験 秋季休業	8月1日(火)～8月31日(木) 8月8日(火) 9月1日(金) 10月1日(日) 10月7日(土)～10月9日(月) 10月21日(土)～10月22日(日) 11月17日(金) 11月20日(月)～11月24日(金) 〔ただし、11月23日(木)の休日に当たる期末試験は、11月16日(木)に繰り上げて実施する。〕 11月26日(日)～11月30日(木)	8月1日(火)～8月31日(木) 8月8日(火) 9月1日(金) 10月1日(日) 10月7日(土)～10月9日(月) 10月21日(土)～10月22日(日) 11月17日(金) 11月20日(月)～11月24日(金) 11月21日(火)～11月25日(土) 〔ただし、11月23日(木)の休日に当たる期末試験は、11月16日(木)に繰り上げて実施する。〕 11月26日(日)～11月30日(木)
第3学期 (12月1日～3月31日) 第3学期授業開始 大学院学位記授与式 冬季休業 英語・ドイツ語検定試験 第3学期授業終了 第3学期期末試験 春季休業 卒業式 大学院学位記授与式 学年終了	12月1日(金) 12月26日(火)～1月7日(日) 2月23日(金) 2月28日(水) 3月1日(木)～3月7日(水) 3月8日(木)～3月31日(土) 3月23日(金) 3月31日(土)	12月1日(金) 12月6日(水) 12月26日(火)～1月7日(日) 2月28日(水) 2月24日(土) 3月1日(木)～3月7日(水) 2月27日(火)～3月3日(土) 3月8日(木)～3月31日(土) 3月4日(日)～3月31日(土) 3月23日(金) 3月31日(土)

(備 考)

- 1 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休業とする。(東京キャンパス・夜間を除く)
- 2 9月20日(水)は、振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。2月20日(火)は、振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。2月28日(水)は、振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。(東京キャンパス・夜間を除く)
- 3 学園祭の実施に伴い、10月6日(金)午後(3時限以降)及び10月10日(火)午前(1, 2時限)の学群の授業は、準備及び後片付けのため、臨時休業とする。
- 4 英語・ドイツ語検定試験の実施に伴い、2月23日(金)午前(3時限まで)の学群の授業は、臨時休業とする。
- 5 学群の入学者選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。(東京キャンパス・夜間を除く)
- 6 卒業予定者及び修了予定者に対する第3学期期末試験に関する特別措置については、別に定める。

平成18年度学生宿舎入居者募集スケジュールについて（お知らせ）

学生部学生生活課

平成18年度学生宿舎入居者募集（在学生）スケジュールが決まりましたのでお知らせします。
なお、募集内容等の詳細については各学群・研究科掲示板及び各学生宿舎管理事務所に掲示します。注意して見てください。

（追越南新単身用個室）

- | | | |
|-------------|-------------------|---------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 10月28日(金) | (申込受付場所) |
| 2. 入居申込受付 | 11月7日(月)～11月9日(水) | (追越学生宿舎管理事務所) |
| 3. 選考 | 11月14日(月) | |
| 4. 発表・部屋割抽選 | 11月16日(水) | |

（一の矢南新単身用個室）

- | | | |
|-------------|---------------------|----------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 11月4日(金) | |
| 2. 入居申込受付 | 11月15日(火)～11月17日(木) | (一の矢学生宿舎管理事務所) |
| 3. 選考 | 11月22日(火) | |
| 4. 発表・部屋割抽選 | 11月25日(金) | |

（特別事情者・一般単身用個室）

- | | | |
|------------|---------------------|------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 10月31日(月) | |
| 2. 入居申込受付 | 11月14日(月)～11月16日(水) | (学生部学生生活課) |
| 3. 発表 | 11月28日(月) 掲示 | |

（一般単身用個室）

- | | | |
|---------------|--------------------|---------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 11月17日(木) | |
| 2. 入居申込受付 | 11月29日(火)～12月2日(金) | (平砂学生宿舎管理事務所) |
| 3. 発表・抽選（男・女） | 12月8日(木)～12月9日(金) | |

（春日単身用個室）（春日留学生宿舎・単身用）

- | | | |
|------------|--------------------|---------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 11月17日(木) | |
| 2. 入居申込受付 | 11月29日(火)～12月2日(金) | (春日学生宿舎管理事務所) |
| 3. 抽選（男・女） | 12月6日(火) | |

（二人部屋）

- | | | |
|---------------|---------------------|---------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 12月5日(月) | |
| 2. 入居申込受付 | 12月13日(火)～12月15日(木) | (平砂学生宿舎管理事務所) |
| 3. 発表・抽選（男・女） | 12月21日(水) | |

~~~~~

### （世帯用・12月期）（春日留学生宿舎，夫婦・世帯用）

- |            |                   |            |
|------------|-------------------|------------|
| 1. 入居者募集掲示 | 11月15日(火)         |            |
| 2. 入居申込受付  | 12月1日(木)～12月6日(火) | (学生部学生生活課) |
| 3. 発表・抽選   | 1月31日(火)（部屋割抽選）   |            |

# 学内パトロールに参加する ボランティア募集のお知らせ

～私たちのキャンパスを一緒に守りませんか～

キャンパス内及び周辺地域における学生及び教職員の安全を確保するため、昨年度から「筑波大学セーフティプロジェクト」を設置し、安全・安心に関する様々なプロジェクトを実施しています。

その中の一つとして、キャンパス内をパトロールするための学生及び教職員ボランティアを募集します。

活動内容及び募集等は次のとおりです。

皆様の御協力をお願いします。



**日 時**：10月から3月までの期間で月1回から2回程度。

夕方から夜間にかけて1時間程度をパトロール

**コース**：学生宿舎近辺、ペDESTリアン、周辺道路等

**登録**：ボランティアへの登録について次のとおり行います。実施に当たっては電子メールにて連絡します。

・学生（大学院生等を含む）については、学生担当教員室あてに、氏名、所属、メールアドレスを連絡してください。

**学生担当教員室** [ymatsuta@sec.tsukuba.ac.jp](mailto:ymatsuta@sec.tsukuba.ac.jp)

・教職員については、総務・企画部総務課あてに氏名、所属、メールアドレスを連絡してください。

**総務・企画部総務課** [sk.somuka@sec.tsukuba.ac.jp](mailto:sk.somuka@sec.tsukuba.ac.jp)

**問合せ先**：総務・企画部総務課総務係（☎2024，2025）

## 平成17年度 クリーン・デーの実施について

このことについて、以下のとおり実施しますので、ご協力をお願いします。

**期 日**：10月26日（水）15：00～17：00（小雨決行）

雨天で実施できない場合は、10月31日（月）に順延する。

**場 所**：各建物及び道路周辺

**参加対象者**：全教職員及び学生

**実施内容**：・空き缶などのゴミ収集

・不要物品などの整理・整頓

### 実施にあたっての留意事項

全学一斉に行うことを原則とするが、業務の都合により実施日等を変更しても差し支えない。

周知方法については、教員及び学生の多くの参加が得られるよう、筑波大学HPスタッフオンリー及びWeb Office掲示板等により周知する。

可燃物・不燃物等の分別をし、指定された場所へ運搬する。

作業範囲は、各実施部局等で設定し実施するものとする。

クリーン・デー実施結果を別紙により報告する。

クリーン・デー実施に関する事務は、総務・企画部総務課が行う。

# 平成17年度 石打研修所の冬季利用について

## 学生生活課

下記期間における石打研修所の利用については、次のように予約を受け付けます。

### 記

**対象期間：**平成17年12月20日（火）～平成18年3月31日（金）

\*ただし、年末年始（12月28日（水）～1月5日（木））は除く。

**所在地等：**新潟県南魚沼郡塩沢町舞子1819-2（舞子高原後楽園スキー場隣接）

定員80名（学生72名・教職員8名）

### 予約方法：

（1）特別利用（学校行事・授業など）の場合

別に定める「特別利用申込書」を、研究科長等の責任者名で学生生活課に提出して下さい。

〆切：10月31日（月）

（2）一般利用の場合

受付開始日時：11月18日（金）9時～、先着順

特別利用の予約状況は、11月11日（金）9時から本部棟2階に掲示します。

利用予定日の1か月前の同日（1か月前が土・日曜日、祝祭日にあたる場合はその前日）から受け付けます。

（注1）予約は1団体1回、4泊5日以内です。

（注2）他の利用者に迷惑のかかるようなキャンセルや、大幅な人数の変更が生じないように予約してください。

（注3）研修所の休所日は、原則として毎週水曜と木曜です。

（注4）12月29日（木）～1月3日（火）は受け付けをいたしませんので、1月29日（日）～2月3日（金）の宿泊予約は12月28日（水）から受け付けます。

### 利用許可申請手続き：

予約のとれた方は、利用日の**7日前まで**（7日前が土・日曜日、祝祭日にあたる場合はその前日）に「利用願・利用者名簿・食事申込書」に利用料（食事料金を除く）を添えて、学生部学生生活課番窓口で手続きをとってください。

なお、研修所では予約も含め受け付けをしていないので注意してください。

### 注意事項：

（1）電話による予約は行いません。

（2）上記対象期間以外の予約受け付けは、従来どおり2か月前の同日からとなります。

（3）詳細については、学生部学生生活課（福利厚生）☎853-2250にお問い合わせください。

# 平成17年度 第21回 MC展

## 筑波大学大学院修士課程芸術研究科(洋画・日本画・版画)作品展の御案内

開催期間：11月15日(火)～11月23日(水)

会場：茨城県つくば美術館

開館時間：9：30～17：00 最終日～16：00(入場は15：30まで)

\*入場無料

総合大学である筑波大学の中に置かれた本大学院には、芸術分野の研究を幅広い視野を持って行い、高度な専門性を備えた人材を養成することを目的とした修士課程芸術研究科が設置されています。「MC」とはこの修士課程(Master Course)の略称です。ここには筑波大学の卒業生のほか、他大学出身者や留学生も多く在学し、互いに刺激しあいながらそれぞれの技術や表現力を高めるべく、日々制作・研究に励んでいます。そして本課程修了者の多くは作家として活躍する一方、大学・短大・専門学校・高校などの教育機関で教職に就き、未来の人材を育成する役割を担っています。

「MC展」は、この修士課程芸術研究科で洋画・日本画・版画を学んでいる1・2年生(26名)による作品展で、今回は約80点の作品を発表します。同展に出品する学生の多くは、全国レベルの公募展へ出品し体的に高い評価を得ていたり、個展やグループ展等などによって学外へ作品を発表するなど、精力的に制作活動をしています。

今年度で21回目を迎えるMC展は、日頃の制作・研究の成果を学外に向けて発表し、より多くの方々に見ていただくことで、今後のさらなる制作の糧とするために開催する展覧会です。開催期間、会場は上記の通りとなっています。皆様のご来場をお待ちしております。



2004年度MC展の展示風景



**ネットで更新!**

「この重たい本，貸出期間を延長するためだけに図書館に持って行くのは大変だなあ」と思ったことはありませんか?

このたび，図書の貸出期間の延長を，インターネットでできるようになりました。図書館に来なくても，雨の日でも，ご自分のお部屋や研究室から貸出期間を簡単に延長することができます，とても便利です。

詳しくは，附属図書館のホームページ (<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>) をご覧になるか，各図書館のメインカウンターでお尋ね下さい。

**図書館講習会開催について**

< 図書館ホームページの活用法 ~本や雑誌の探し方を中心に~ >

図書館で探している資料を見つけれないことはありませんか?

附属図書館では様々な情報を提供しています。図書館の本や雑誌の探し方講習会では，Web蔵書目録(OPAC)や電子ジャーナルを中心に，以下のとおり説明と検索実習を行いますので，お気軽にご参加ください。

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

10月26日(水) 15:30 ~ 16:30

定員: 5名

< 論文の探し方 >

論文やレポート作成を控えた学生や教職員の皆さん，資料集めにお困りではありませんか?

図書館では，論文作成や研究に必要な文献情報を入手するためのデータベースを各種用意しています。それらの検索法や論文の入手法について，以下のとおり講習会を行いますので，お気軽にご参加ください。

中央図書館 コンピュータ利用室(新館2階)

・外国語論文の探し方 First Search(全分野のデータを搭載した First Search を中心とした論文検索法)

10月24日(月) 15:30 ~ 16:30

・外国語論文の探し方 Web of Science(全分野の文献情報等様々な機能を搭載した Web of Science を中心とした論文検索法)

10月27日(木) 17:00 ~ 18:00

・日本語論文の探し方(国立情報学研究所の新サービス CiNii を中心とした論文検索方法)

10月28日(金) 15:30 ~ 16:30

・PubMed 入門(医学分野で世界最大の文献情報データベースの使い方)

10月25日(火) 15:30 ~ 16:30

定員: 各回10名

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

・PubMed 入門(医学分野で世界最大の文献情報データベースの使い方)

10月21日(金) 17:00 ~ 18:00(入門)

10月25日(火) 17:00 ~ 18:00(中級)

・医学中央雑誌(国内の医学・看護関連分野の文献情報データベースの使い方)

10月24日(月) 15:30 ~ 16:30

定員: 各回5名

図書館情報学図書館 マルチメディアプラザ(情報メディアユニオン1階)

・外国語論文の探し方 図書館情報学編(LISA等を用いた論文検索方法と文献の入手方法)

10月21日(金) 16:45 ~ 17:45

10月26日(水) 15:30 ~ 16:30

・日本語論文の探し方(国立情報学研究所の新サービス CiNii を中心とした論文検索方法)

10月28日(金) 16:45 ~ 17:45

定員: 各回10名

申込先: 各図書館レファレンスデスク，または図書館ホームページにて受け付けます。 <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp>

**筑波大学吹奏楽団第54回定期演奏会のご案内**

筑波大学吹奏楽団は，春と秋の年2回の定期演奏会を活動の軸としており，今回，第54回定期演奏会を開くことになりました。きっと楽しんで頂けると思います。ぜひお越しください。

団員一同，皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時: 11月3日(木)

開場18:00 開演18:30

場所: ノバホール

料金: 一般500円(前売り400円)

中学生以下 無料

全席自由

曲目:

管楽器のための序曲(メンデルスゾーン)

ソビエト民警のための行進曲

(シヨスターコヴィチ)

フランス組曲(D・ミヨー)

マンテカ(D・ガレスピー) 他

問合せ先: 090-6347-2460(中村)

[utbs\\_inquiry@hotmail.com](mailto:utbs_inquiry@hotmail.com)

H P: <http://sound.jp/utbs/>

**学術情報メディアセンターにアクセスポイントを設置**

学術情報メディアセンターでは持ち込みPCを学内ネットワークへ接続するために以下のように端末室を設けました。

学内の教室などに設置しているアクセスポイントと同様の接続方法で利用できます。有線(Ethernet)による接続もできます。電源タップ，机も用意してありますので，自習などにご利用ください。

期間: 平成17年11月1日(火)から

平成18年3月7日(火)まで

場所: センター2階 203室

開放時間: センター内の教育用計算機の端末室と同じ

URL: <http://www.cc.tsukuba.ac.jp/accesspoint/index.html>

あなたの写真がSTUDENTS紙面に

## 第4回STUDENTSフォトコンテスト 写真募集!!

STUDENTSでは、バラエティーに富んだ親しみやすい紙面を目指して、フォトコンテストを行います。学園祭やスポーツデーなどの学内行事・サークル活動・学内の自然・日常のさりげない表情など、「筑波大学」を写したものであれば結構です。過去の写真も歓迎します。

審査員には芸術の先生も加わりますので、芸術性の高い写真もOKです。



この写真は、昨年度「佳作賞」受賞作品です。  
何というサークルかわかりますか？

### 応募規定

◎テーマ：「筑波大学」に関するもの。過去の写真も歓迎。

### ◎応募資格等

- ・応募資格：筑波大学の学生（院生・研究生等を含む）・教職員・卒業（修了）生ほか（学生の家族、ボランティア・アルバイト等を含む）
- ・ひとり5点まで。撮影者と応募者とは同一であること。
- ・重複投稿不可。ポスターをまるごと撮影するなど、他者の権利を侵すことのないこと。
- ・受賞作品の使用権は主催者に帰属します。選にもれた作品は希望により返却します。

### ◎応募方法

- ・カラー・白黒のプリント。デジタルカメラで撮影の場合は保存メディア（CD・フロッピーディスク等）と紙面にプリントアウトしたもの両方をお出ください。
- ・サイズはA4以下であれば自由。
- ・応募票に「題名・撮影地・コメント・所属・氏名・連絡先など」を記入して、作品裏面の左上に貼付して下さい。応募票は学生担当教員室で受け取れますが、筑波大学HP内の「キャンパスライフ」「学内行事」欄（[www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~gakutan/event.html](http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~gakutan/event.html)）からもダウンロードできます。必要事項が書かれていれば、応募票は自作でも構いません。

◎締切：12月7日（水）

### ◎写真送付先

学生担当教員室（第一学群C棟1C203）まで持参するか、下記の宛先に郵送してください。  
〒305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学 学生担当教員室

### 審査

審査委員長：守屋正彦（学生担当教員室長）

審査員：木村 浩先生（人間総合科学研究科）、学生担当教員室員、全大会の学生（議長、副議長）ほか

◎表彰・発表：最優秀作品はSTUDENTSの第1面にカラーで掲載します。また、優秀作品をSTUDENTS紙面で発表・表彰し、賞状とささやかな記念品を贈呈します。受賞作品は、学生担当教員室からの刊行物やホームページ等に掲載、および学内での展示をさせて頂く場合があります。

### 主催・協賛

◎主催：学生担当教員室

◎協賛：紫峰会 [筑波大学学生後援会]

◎問い合わせ先：学生担当教員室（☎853-2269）